

# 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

<b>研修名</b>	サンフランシスコで学ぶソーシャルイノベーション
------------	-------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	円	詳しくは覚えてないのですが、大体一食 10~20 ドルぐらいの間でした。ファストフードとかだと 10ドルきつたりします。
図書費	円	
学用品費	円	
携帯・インターネット費	1960 円	980 円の 24 時間 3GB 利用権を 2 回買いました。Ymobile です。
現地通学費	円	(研修先まで 分)
教養娯楽費	円	
被服費	円	
雑費	円	
その他	円	例:
その他	円	例:
<b>合計</b>	約 8 万 円	

## 渡航準備について

<b>1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか</b>
困ったことは特にありませんでしたが、色々手続きが必要なので早めにやっておくと思います。
<b>2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか</b>
現金の用意方法:おばあちゃんから USD と硬貨をもらいました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
<b>3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか</b>
自分が日本で契約している Ymobile がアメリカで 24 時間 3GB、980 円のプランを提供していたのでそれを使用しました。
<b>4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか</b>
ピオフェルミン(整腸剤)は持って行って本当に良かったと思っています。自分は現地の食べ物があんまり体に合わなかったのですが、これを持っていったおかげで腹痛とか便秘とかに悩まされることがなくて快適でした。

## 現地情報

<b>1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)</b>
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: ホームシック、特に誰にも相談しませんでした。スタッフがの方やプログラムのメンバーたちが気をつけてよく体調確認してくれました。) 特記事項:
<b>2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?</b>
在米日本大使館の危険情報お知らせサービスみたいなのに前もって登録をしておき、その情報を受け取っていました。研修は基本的に治安がとても良いエリアで行われていたので特に危険なことはなかったです。防犯対策としては小さいワンショルダーバッグに財布とかスマホとかをいれて盗まれづらいようにしていました。
<b>3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)</b>

ホテルの wifi はかなり良かったです。ホームシックだったので youtube で日本語の動画をかなり見ていましたが、接続が悪いなど感じることはありませんでした。

滞在形態関連	
<b>1) 留学中の滞在先の種類</b>	
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> ホテル	
<b>2) 部屋の形態</b>	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 1 人)	
<b>3) 共有部分</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン( <input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
<b>5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)</b>	
<p>ホテルのアメニティについて 風呂: 基本的にはシャワーを使います。温度調整するハンドルを手前側に引っ張ると水が出る仕組みでした。すぐお湯に代わってくれたので助かりました。</p> <p>洗濯: 結構大きい洗濯機と乾燥機が二つずつあります。どちらも使用料金は 2 ドルで 25 セント硬貨しか対応してないのでそれを 8 枚入れる必要があります。持ち合わせがないときはホテルの受付で 1 ドル札とかと交換してもらえます。</p> <p>ご飯: 毎日の固定メニューはパンとヨーグルトとドリンク、フレーク類でした。日本でいうバイキング方式で、おかずが日によって変わります。ハンバーガーのお肉みたいなのが出る日もあればオムレツのような卵料理だけの日もありました。パンは食パンとかベーグルがあります。トースト機に入れてから食べます。自分は試みませんでしたが大抵ワッフル機もありました。ヨーグルトはイチゴ、ブルーベリーなどがありました。最初はすごく甘いと感じましたが、そのうち慣れました。ドリンクは冷たい水、アップルジュース、オレンジジュースなどがありました。こちらもすごく甘く、最後まであまり飲もうとは思えませんでした。フレーク類は特に興味を惹かれず試みませんでした。フレーク用の牛乳はちゃんとありました。</p> <p>部屋: ルームメイト 1 人と共同部屋、つまり 2 人で使います。ルームメイトはとてもいい人で仲も良かったのですが、自分は完全プライベートの空間がないのが精神的に結構辛かったです。ドライヤーは備え付けの物があります。石鹸は自分で見つけられなかったのですが、ルームメイトがどこかからみつけて置いてくれたのでそれを使ってみました。電子レンジと湯沸かしポッド、テレビ、冷蔵庫もあります。水はあったかい水とぬるい水はホテルの朝食会場付近で飲めますが、冷たい水は自分で買って来て冷蔵庫に入れておくか、ホテルの受付(5 ドルぐらい)もしくは自動販売機(3 ドルぐらい)で買うしか飲む方法がないです。スマホの充電器とかは日本で販売しているやつ(100v)だとアメリカのコンセント(150v)に対応していないので、変換機を買うか 100~120v みたいな対応の仕方をしているやつを持って行ってください。</p>	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
<b>1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容</b>	
二日目のスタンフォード大学でのスカベンジャーハント(お題の答えをキャンパス内にいる人に聞く)と十日目の貧困者を援助している団体の話を聞きに行くアクティビティ。	
<b>2) 課外プログラムについて</b>	
四日目の午後、アメリカのバスケットボールリーグ、NBA の試合を見に行きました。(ウォリアーズ vs サンズ) 試合は拮抗した展開で面白く、場内食も高いですが美味しかったです。また、スタジアムまでの道中、電車に乗ったりチャイナタウンを通ったりといろいろな経験をすることができました。	
<b>3) 滞在先・現地での生活に関すること</b>	
上の滞在形態関連に書いたことと大体同じです。	

### 留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私がこのプログラムを選んだのは、Google、NVIDIA やスタンフォード大学を訪れることができるのとデザイン思考という何かよくわからないけど凄そうなものを学ぶことができるからでした。ここを基準にしてプログラムを振り返ると、Google、NVIDIA、スタンフォードを訪れることはとても楽しく現地では特別な経験をいくつかすることができました。NVIDIA や Google のオフィス(向こうではキャンパスと呼んでいた)やスタンフォード大学のキャンパスに入って、自分の目でその中を観察することができたり、そこにいる人たちの話を聞いたりしました。そしてデザイン思考に関してですが、思考法の内容自体は本で学べることだったし、なんなら簡略版でした。ですがそのデザイン思考を実際に使ってみてそのフィードバックをチームメンバーからもらうという経験は本を読むことでは得られないものでした。自分が興味を持った部分では満足をすることができたと思います。

# 国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ソーシャルイノベーションプログラム
-----	-------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	25000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	10000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	0 円	
雑費	10000 円	
その他	5000 円	例: 休日の交通費
その他	円	例:
合計	50000 円	

渡航準備について

<b>1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか</b>
なかつたです。
<b>2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか</b>
現金の用意方法: 日本の空港で一括に両替しました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
<b>3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか</b>
日本と中国の通信会社の国際通話サービスを利用しました。
<b>4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか</b>
日本と地元のお土産、パソコン、スリッパ、歯ブラシセット、筆記用具、持ちやすい財布

現地情報

<b>1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)</b>
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: ) 特記事項:
<b>2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?</b>
サンフランシスコは広東系アメリカ人が多く集めている都市の一つとして、広東料理屋と中華街には広東語(のみの場合が多い)が通用しているため、同じく広東人の自分はよくそれらの店へいくため、買い物をするとき、広東語を用いてできるだけ地元の治安と安全情報を多くとりました。
<b>3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で</b>

使用できない時はカフェに行った。)
携帯電話の通信とインターネットの接続は日本と相変わらないでした。

滞在形態関連
<b>1) 留学中の滞在先の種類</b>
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> ホテル
<b>2) 部屋の形態</b>
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2 人)
<b>3) 共有部分</b>
<input type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン( <input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
<b>5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)</b>
ホテルのサービスと施設は完璧でした

プログラム選択の参考となる点を記載してください
<b>1) 研修先での役立つと感じたプログラムや内容</b>
今回の研修にはスタンフォード大学とベイエリアにある多くのテクノロジー会社を訪ねて、様々な新しい理念を理解し、更に、研修に学んだデザイン思考法(Design Thinking)は新学期からの研究活動に助けになれると思います。
<b>2) 課外プログラムについて</b>
授業時間と会社大学見学時間以外には、サンフランシスコ市内観光へ行き、自分は広東人のため、サンフランシスコの広東人の移民に対して特に興味を持っており、中華街を二回訪ね、その他、友達とゴールデン・ゲート・ブリッジの橋上散歩へも行きました。
<b>3) 滞在先・現地での生活に関すること</b>
一緒にプログラムに参加する友達と様々なことを交流し、自分は中国語英語日本語がいずれもしゃべれるのため、別地域(京都、九州)の日本人学生とお互いに大学の生活と将来の進路および自分は外国人として日本に生活する感想を多く交換し、同胞の中国人学生と各自の大学の学生生活と将来の計画および各自が住んでいる都市(澳門・上海・東京)に対する見方を多く交換しました。また、時々、文化学習および交流のため、中国人の友達のみならず、日本人、ミャンマー人の友達と現地のアメリカ人の先生をホテルの隣にある広東料理屋に連れて、一緒に本格的な広東料理を味わいました。

## 留学体験記

この研修先を選んだ理由、研修や生活全般について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

<p>自分はこの研修先を選んだ一つの理由として、ベイエリアに生活して働いている優秀なエリートと交流し、新しい理念と思考法を学ぶチャンスを作りたいほか、有名な大学およびテクノロジー会社の本社を見学にいき、社内の仕事環境および雰囲気一度体験してみたいです。また、今度の研修を通じて、より広い世界を見えたい、エンジニアリング学科の学生として持つべき教養品質、自我価値もわかりました。もう一つの理由は、サンフランシスコは広東人をはじめ中華系アメリカ人社会の歴史の起点として、中華系の皆さんが努めてきた印が映されているため、太平洋を渡った自分の同胞が異国に努力してきた歴史を学び、あそこに努めて生活している姿を見に行きたいです。</p> <p>今度の研修のきっかけにアメリカを 2 度目訪ねていき、初回目と異なる地域(初回目はフロリダ州でした)のため、新たな風景を見たうえ、保守的なアメリカ社会の気分と進歩的なアメリカ社会の気分および田舎地方のアメリカと大都会のアメリカの違うところも感じました。現地における毎日のスケジュールは授業、見学、グループディスカッションおよびチームワークを中心としたため、きつかったと思いましたが、これらの活動を通じてインドア派の自分の英語力およびディスカッション能力を向上し、授業中に先生に質問する積極性および勇気も育てられました。更に、一日のスケジュールが終わった後、凄くきつかったこそ、日本にいる時より早く寝られ、翌日に誰よりも早く起きれて、とても健康的な状態になりました。スタンフォード大学およびシリコンバレーにある有名なテクノロジー会社を見学に行く時、エンジニアリングと管理層にはアジア系の方がよく見え、自分のイメージと昔のアメリカ映画に映したア</p>
---

ジア系の人々のイメージと違い、大きなショックを受け、アジア人は実際に優秀ではないと言えないことをわかりました。また、今回の研修には、地元の広東系アメリカ人先生および地元で生活している広東系の皆と交流することを通じて、違う国の同じ民族の人々の性格および物事に対するやり方などの差異も学びました。とても面白かったと思います。

後輩学生へのアドバイスとしては、アメリカ現地の授業、見学および講座には活躍するほど、積極するほど、収穫できることが多くなるため、疑問質問感想があれば大胆に言い出してください。